

◆父が亡くなってから早30年。特別霊感があるわけでもない私の身に起きた不思議な話です。お通夜当日、私たち家族はこれからお寺へ向かうと支度をし、私は父の遺影を胸に抱き玄関を一步出ました。その時ふわっ！と出てきて一瞬「あつ！そばにいる!!」と感じ、周りを見渡してもう一度その匂いを探しましたがもうありませんでした。住み慣れた家を離れる父の想いが、香りとなったのかなと思ひ涙が溢れてきました。今でも鮮明に記憶されている出来事です。

上北地域のH・Kさん

火の玉探検ツアー



■お釈迦様の墓があり、古くから信仰の山とされる梵珠山(旧浪岡町)。旧暦7月9日の深夜、不思議な光が山頂付近に現れ、運よく見る事ができれば「利益があるのだとか。毎年、探検ツアーが行われています。」

◆高野山、比叡山と併せ日本三霊山に数えられる「恐山」。この下北の地に私も生まれ、とても誇らしく思います。「恐山」は死者の霊を呼び出すイタコの口寄せが有名です。私の祖母も霊感が強く、死者がこの世から離れる前、必ず挨拶して行く事が度々ありました。幼い頃から私にとって生と死はとても身近な存在でした。主人も私もお墓を守る立場なので、普段から故人に会いに行く事は特別な事ではなく、苦になりません。この世の流れで簡素化も進み、あまり重要に思っていない人が増えているなど感じます。私としては次の世代に継承する事が役目だと思っています。お墓に行けなくても、時々思い出事が子供になるので、いつか迎えに来る



むつ市の武井直子さん

時に備え、丁寧な暮らしを心掛けたいと思っています。欲を言えば、迎える主人を「指名したいので、1日でも長く主人より生きたいです(笑)。

■「父恋し夜泣き石」(野辺地町枇杷野川沿い) … (略) 父を失った娘は、この岩に寄りかかり死んだという。夜になると、「父(と)恋し」と忍びなく娘の声、せせらぎの中から聞こえてくるのだそうです。



てーまは…

ちょっと涼しくなるかもしれない話…



北国、青森にも暑い夏がやってきます。暑い季節の楽しみ方や、やり過ぎ方の工夫など、いろいろとあることですね。今回は、涼しくなるようなスポットや話などを、ちょっとだけ集めてみました。

◆暑い日の「おすすめスポット」は… 八戸市南郷島守にある赤坂神社の湧水スポットです。龍興山の麓にあり、小川周辺には様々な生きものが飛びかい自然が守られています。日陰にあり涼しいのでおすすめです。南郷には他にも湧水スポットが多くあります。

◆不思議な出来事… 叔母の生んであげることのできなかった子が何度も夢に出てくるようになり、名前もあり、生まれていたらの年数分ほど成長して繰り返し現れたとのこと。そこには先祖？と思われる女性も一緒に、手をつなぎ笑っていた。

八戸市のゆきさん

◆青森の暑い夏はやっぱりねばた。沿道にブルーシートを敷いて、会社の同僚5人でねばた見物というのが、ここ数年の定番です。ビールやおつまみを持ち寄り、ねばたに熱くなりながら(女子会?)トークに花を咲かせます。後は同じメンバーでビアガーデンにも行きます。と言っても決してビールが好きというのではなく、家では全く飲みません。家でもつばらコープの「ただの炭酸水」！女子会の仲間がひとり秋田に転居してしまつて、ねばたも中止になり、今年の夏はさびしい夏になりそうです。

青森市の松本真由美さん

津軽藩の始祖、光信公のお墓



■鯉ヶ沢町種里にある「光信公御廟所」(みつのぶこうびょうじょう)。遺言により、光信は生きていたときと同じ姿で埋葬されたという。お墓には不思議な霊力があるのだそうです。



五所川原市の江良博子さん



■江戸の時代。幽霊の絵が描けず苦しんでいた絵師の丸山応挙を見かねた妻は、命を絶つて幽霊となり、前に現れたといひます。久渡寺(弘前市)にはその絵があるのだそうです。

8月号の「組合員の交流コーナー」 てーまは… 終戦の日

もうすぐ、75回目の暑い夏がやってきます。8月15日は「終戦記念日」ということから、8月号の組合員の交流コーナーのテーマは「終戦の日」に寄せて。今回は、投稿をいただいている中から、その一部をご紹介します。

■戦争を知らない親が子に伝えられることはないですが、「一緒に「火垂るの墓」を見る事が心に響き、何度見ても涙がとまりません。」

弘前市のCYさん

■「終戦の日」に寄せて」と直接関係はありませんが、私が小学生の頃まで(八戸市の)鮫町にある蕪島には、何か所か穴があつたと思ひます。入つた事はありますが、戦争の時の何かであつたと記憶しています。さらに、葦毛崎の展望台も戦争の時の物だと思ひます。今は、それらが(蕪島の穴はないけど)観光に使われている事が、平和前提であることが良かったと思ひます。と同時に、戦争の時に使われた事実も知っておく必要があると思ひます。

八戸市の久保裕子さん



■蕪島神社(上)と、葦毛崎展望台(今年5月撮影)

★投稿募集

※2020年も半分は経過しました。今年の目標に「断捨離」(たんしゅり)を掲げた方もいらっしゃるのではないでしょうか。広報紙「はばたき」9月号「組合員の交流コーナー」テーマは「断捨離」です。紙面作成に当たり、皆様からの投稿を募集します。

■締め切りは7月15日水／投稿はの面掲載のバスの応募先。メールでも応募いただけます。／写真の投稿もOKです。